

双葉町における教育・起業・地域の連携による人材育成プロジェクト

: 学校を中核とした包摂的コミュニティの共創

東京大学 連携市町村：双葉町

現地拠点： 福島県双葉郡双葉町大字長塚字町東63番地の2 「edulab.ふたば」

① 事業のポイント

- 「全員が与える側になる」循環型協働：大学からの「一方的な支援」を脱却し、学生・子ども・地域住民が双方向に学び合うエコシステムの構築
- 「教育」×「起業」の2本柱：教員志望・起業志望の学生をターゲットに、実践的なインターンシップや学習支援を展開
- 包摂的コミュニティの共創：2028年開園・開校の認定こども園・義務教育学校をハブに、町内居住者、町外に住む町民、学生など関係・交流人口すべてがフラットに学べる場を創出
- 活動拠点「edulab.ふたば」：関係者全員が定期的に集い、事業の評価・改善を行いながら新たな活動を共創するプロジェクトの中核拠点

② 2026年度の活動内容

- 学校活動(双葉南・北小学校、双葉中学校)
 - ・サマースクール・ウィンタースクールでの学習支援・ワークショップの実施
 - ・東京大学教育学部附属中等教育学校との交流(オンライン等を想定)
- 起業活動(実践型キャリア形成)
 - ・地域のスタートアップでの中長期インターンシップ
 - ・東北の教育系起業家を毎月招く「ゼミ」
- 地域活動(対話と共創)
 - ・地域について毎月学ぶ「ふたばまち学」の実施
 - ・学生と子どもたちが町民にインタビューする『ふたばのひととしごと』制作開始

③ 人材育成・定着計画及び目標

- ① 地域で起業する学生・生徒を15名輩出
- ② 相双地区の教育現場に
教員として定着する学生を5名輩出
- ③ 新しい学校を中核とした充実した教育環境による
教育移住人口(20世帯)の創出

④ 取組によって得られる成果

- ① 独自の教育資源の創出と社会還元
- ② 復興地域におけるコミュニティ再構築のモデル化
- ③ 「自走する」地域エコシステムの確立